

第42回全国高等学校選抜フェンシング大会 四国地区予選会

実施要項

主催 香川県フェンシング協会 愛媛県フェンシング協会 高知県フェンシング協会
徳島県フェンシング協会 四国高等学校体育連盟
主管 香川県フェンシング協会 香川県高等学校体育連盟フェンシング専門部

1. 期 日 平成30年1月20日(土) 10:30~17:00
2. 会 場 「とらまるてぶくろ体育館」 住所: 香川県東かがわ市西村1155-1 TEL: 0879-24-1810
3. 競技種目 男女学校対抗 フルーレ・エペ・サーブル
4. 競技規則 (1) (公社)日本フェンシング協会試合規則・(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定による。
(2) 用具検査
武器・装具については、試合ごとに点検し、不備が見つかった場合は直ちに罰則を適用する。
5. 競技方法 (1) 出場校が3チーム以上の場合はリーグ戦を行う。
(2) 1チームは5名編成とし、3名による総当りで、リレー方式とする。
(3) 試合時間は2分間(実働)とする。*四国地区予選会の特別ルール。
(4) 10:30から男女フルーレのリーグ戦を行い、終了後、男女エペ・サーブルを並行して行う。
監督は登録されている種目のベンチを行き来することができる。
6. 参加資格 (1) 選手は、学校教育基本法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(2) 各県高等学校体育連盟に加盟している1年生及び2年生で、大会参加の資格を得た者。
(3) 年齢は平成12年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) 平成29年度に(公社)日本フェンシング協会に登録している個人及び(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部に加盟している学校。
(5) チーム編成において、全日制、定時制、通信制の各課程の混成は認めない。
(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(7) 転校後6ヵ月未満の者の出場は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転居などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
(9) 参加資格の特例
ア 上記(1)、(2)に定める生徒以外で(3)~(7)の大会参加資格を満たし、かつ在学する学校長が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ 上記(3)については、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。
(10) 外国人留学生の出場規定
ア 永住権を有する者は大会実施要項の規定人員までエントリーできる。
イ 一定期間査証(ビザ)を取得し、卒業を目的に日本の高等学校に在籍する者は、大会実施要項の規定人員のうち1名エントリーできる。
ウ JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒は大会開催要項の規定人員のうち1名エントリーすることができる。
7. 引率・監督について (1) 引率責任者は、学校長が認める当該校教員とする。
(2) 監督は学校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
(3) 男子・女子選手が同一校から参加するときは、それぞれの選手を指導する監督を必要とする。

8. 参加制限 (1) 各都道府県代表は、種目ごとに1チームとする。
(2) 1人2種目以内とする。但し、エペ・サーブルの2種目に参加することはできない。
9. 申込方法 (1) 参加申込書に記入のうえ、以下に郵送及び以下のメールアドレスに参加申込書のファイルを添付して送信すること。
〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1583-1 香川県立高松北高等学校 前田 雄亮 宛
メールアドレス:k60481@kagawa-edu.jp
(2) 申込期日 平成29年1月10日(水) 必着
10. 参加料 団体 1チーム 5,000円 *予選会の日持参すること。
11. 連絡事項 (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
(2) 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により大会に出場出来なくなった場合、試合開始48時間前までに学校長の承認を得て診断書を添え、開催県専門委員長に書面にて提出し承認を得ること。
(3) 外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることは出来ない。
(4) 競技に関する事項
ア 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に、試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。
イ 上衣の中には必ず半袖プロテクターを着用し(FIE公認のユニホームでも着用のこと)、女子の選手は金属または硬い材料で出来ている胸当てを両胸に着用すること。また、その他の急所にも十分な防備をすること。
ウ 選手は頭髪に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
エ ゼッケンを作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同姓の者がいる場合は識別できるまで名をつける。
オ ベンチの入場者は、当該種目監督および登録選手とする。
カ 試合中の用具の破損は選手の責任とする。なお、予備の用具は必ず準備すること。